

平成 28 年度中学校武道授業(相撲)指導法研究事業



平成 28 年度中学校武道授業(相撲)指導法研究事業〔主催＝(公財)日本武道館・(公財)日本相撲連盟・日本武道協議会、後援＝スポーツ庁〕が、平成 29 年 1 月 21 日～22 日の 2 日間、日本武道館大会議室において研究者 10 名、日本相撲連盟事務局 1 名、日本武道館事務局 3 名で実施された。

本研究事業は、昨年 10 月、山梨県富士吉田市での開催に続き、本年度 2 回目の開催である。平成 24 年度から完全実施された中学校保健体育科における武道授業の充実に向け、相撲の指導法及び指導のあり方についての検討・協議が行われた。

1 日目 (1 月 21 日)



安井和男常務理事

◆開講式

主催者挨拶で、安井和男日本相撲連盟常務理事が「新年初めての顔合わせとなります。本日は中学校武道授業指導法研究の為に集まりいただき、誠にありがとうございます。日本相撲連盟としても本研究事業で指導法をしっかりと検討し、相撲を広めていきたいと考えております。皆様方には更なるご協力をよろしくお願いいたします」と述べた。

続いて、三藤芳生日本武道館理事・事務局長が「中学校武道必修化が始まり 5 年が経過しますが、今後は授業の成果が問われることにな

ります。相撲は非常に魅力的で人気のある種目です。現在大相撲の初場所が行われている最中ですが、視聴率も高く、多くの国民に愛されています。しかしながら、中学校授業での相撲の採用はまだまだ少ないというのが現状でありますのでお互いに知恵を出し合いながら、より多くの中学校で実施できるよう取り組んでいただきたいと思います。

また、指導現場でより充実した指導ができるよう『中学校武道必修化指導書(DVD 付)』を日本武道協議会で現在作成しており、全国の中学校や図書館等へ無償配布をいたします。それに加えて全国指導者研修会等の各種研修会でも配布を予定しております。こちらにつきましても準備を進めていますので、ご協力をお願いいたします」と主催者挨拶をした。

◆研究協議 I

(次回全国相撲指導者研修会の日程について)

まず、桑森真介研究者が中心となって、次年度に開催する第 4 回全国相撲指導者研修会の日程についての検討協議を行った。各講義や実技研修の時間割り・内容について、一コマずつ検討した。3 日目の簡易試合については「試合時に楽しくなりすぎてふざけてしまうことがある。礼法をしっかり教えることが大切だ」「相手に礼を尽くし、



三藤芳生理事・事務局長

尊重するように指導することを伝えるようにしよう」等、現場で実際に指導している研究者から意見が出た。



◆研究協議Ⅱ

(第3回全国相撲指導者研修会の成果と課題について)

午後からは、昨年11月に実施された第3回全国相撲指導者研修会報告書の原稿について、グループ毎に内容を確認して加筆・修正をし、再構成した原稿を精査した。

◆研究協議Ⅲ-1

(日本武道協議会相撲指導書に関する検討)

日本武道協議会で発行する『中学校武道必修化指導書』について、原稿を全員で確認した。文章の表現方法やイラストの修正等について、各研究者より指摘があった。最後に桑森真介研究者が総括して、初日は終了した。



2日目(1月22日)

◆研究協議Ⅲ-2

(日本武道協議会相撲指導書・DVDに関する検討)

昨日に引き続き、『中学校武道必修化指導書』について、後半を確認した。また、全体的な文言、表現方法等のチェック・修正も合わせて行った。その後、全員でDVDを鑑賞し、映像の確認をした。ナレーションの修正やテロップの表現方法について、一部変更を加えた。

◆閉講式

最初に安井和男日本相撲連盟常務理事が挨拶をし、その後、各研究者が本研究事業の感想を一言ずつ述べた。最後に端春彦日本武道館振興部振興課副主事が挨拶を述べ、全日程が終了した。

◎安井和男日本相撲連盟常務理事

貴重な時間を割き、本研究事業にご参加いただき誠にありがとうございました。二日間に渡り充実した検討協議が行えたと思います。指導書及びDVDにつきましても、良い物ができると確信しました。二日間ありがとうございました。

◎桑森真介研究者

かなり時間を延長し、ご協力いただき誠にありがとうございました。指導書、DVD共に研究者の皆様にご精査していただき、感謝しております。

◎上村裕一研究者

新しい指導書の作成に携われ、ありがたく思っています。また、ここで検討協議したことを現場で活かしていきたいと思っています。

◎廣瀬理奈研究者

安藤先生が仰っていた「無理と無知は事故を招く」という言葉が印象に残っています。学校現場では、生徒の関心欲を高めつつ安全に授業を実施しなければならないので、本研究事業に参加させていただくことが現場指導に役立っています。

◎入倉裕司研究者

本研究事業に当初から参加させていただき、どんどん進化していると感じています。これからも現場で相撲を広げていきたいと思っています。

◎満留久摩研究者

日本相撲連盟で作成した指導書を良い意味で壊して発展させたいと考えていたので、本当に良い機会をいただいたと思っています。また、今後も現場で智慧を絞り、工夫をしながら相撲の発展に尽くしたいと思います。

◎安藤均研究者

本研究事業で相撲の教育的価値と魅力について新しい発見ができ、勉強になりました。今後も相撲の魅力を広げていきたいと思っています。

◎村田安啓研究者

素晴らしい指導書が研修会でも配布されるということです。全国指導者研修会には、より多くの参加者が集まるよう尽力します。

◎吉村登日本相撲連盟事務長

指導書とDVDを確認し、素晴らしいものができるかと改めて思いました。ありがとうございました。

